

2023年6月29日

オランダ水道整備金融公庫が発行する 「SDG・ハウジング・ボンド」への投資について

大樹生命保険株式会社(代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」)は、この度、オランダ水道整備金融公庫(Nederlandse Waterschapsbank、以下「NWB」)が発行する豪ドル建 SDG・ハウジング・ボンド(以下「本債券」)への投資を実施しました。

NWB は、オランダの治水当局や自治体などの公共セクターに向けて投融資資金を供給する政府系の金融機関です。NWB はこれまで、合計 200 億ユーロ以上の SDG・ハウジング・ボンドと、70 億ユーロ以上のウォーター・ボンドを発行しており、オランダで最大の ESG(環境・社会・ガバナンス)債券の発行者になります。NWB は公共セクターを通じ、水関連、住宅関連、医療関連等の諸機関に投融資を行うことで、地域の持続可能な発展に貢献しています。本債券は、その中で特に住宅関連に焦点を当て、「持続可能な住環境づくり」への取組みを支援するために発行されたものです。

昨今、気候変動や自然災害によって、私たちの生活の基盤である住環境が脅かされつつあります。これらの影響を受けるのは最も脆弱な立場の人々であり、NWB は、そのようなコミュニティに手頃で安全で良質な住環境を提供しています。また、建物のエネルギー性能の向上、再生可能エネルギーの利用、および入居者のエネルギー効率的な行動やサーキュラーエコノミー(循環型社会)を促進することで、地球環境の保全に貢献しています。本債券で調達された資金は、SDGs の目標 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や、目標 11「住み続けられるまちづくりを」をはじめとする持続可能な住環境づくりに関連するプロジェクトに充当される予定です。

これまでも当社では、環境債(グリーンボンド)や社会貢献債(ソーシャルボンド)、ESG 投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

<本債券の概要>

発行体	オランダ水道整備金融公庫
格付	AAA(S&P) / Aaa(Moody's)
発行総額	40 百万豪ドル
償還期間	15 年

【NWB が取り組むプロジェクト事例】

■ 社会住宅(※)における天然ガス使用の段階的廃止に向けた取り組み



©NWB

グリーンハウジングプロバイダズ(官民が連携して社会住宅部門における持続可能性を推進する取り組み)の一員である社会住宅協会 Alwel は、管理する住宅における天然ガスの段階的廃止に向けて、キッチンのガスコンロを電気コンロに置き換える取り組みを行っています。これにより化石燃料からの脱却のみならず、利用者の経済的な負担軽減にも貢献しています。

(※)住宅協会や自治体が経営管理する住宅のこと

■ マーストリヒトの食用林植林プロジェクト



©NWB

マーストリヒトの社会住宅協会 Servatius は、テナントや管理者と協議のうえ、住宅の近隣に食用の木を 1000 本植えるプロジェクトを実施することを決定しました。このプロジェクトは低コストで、地域の生物多様性を向上させ、住民にとってより緑豊かで健康的な環境を提供します。それだけでなく、安価な食物へのアクセス、住民同士のコミュニケーションの機会も提供します。

* 上記プロジェクトは、事例のご紹介のみを目的としており、今回の SDG・ハウジング・ボンドの資金の活用を上記プロジェクト又はその分野に限定するものではありません。

【本件と関連性の深い SDGs テーマ】



以上